

国際政治

201

ソ連研究の新たな地平

日本国際政治学会編

序論 ソ連研究の新たな地平	松井 康浩
ソ連／ロシアの対中・対日外交から学ぶべき教訓	岩下 明裕
ペレストロイカと環境問題	地田 徹朗
ソヴェト・ロシアの対イラン外交の始まり	李 優大
ソ連の対日政策におけるアメリカファクター（一九二〇—一九三三）	藤本 健太郎
戦間期ソ連におけるコンセッションと対外経済関係	河本 和子
ペレストロイカ期中央アジアにおける共和国の自立と 民族問題の関係	宇山 智彦
大統領任期延長の正統性	溝口 修平

<書評論文>

戦後イギリス外交の再編期における英米の「特別な関係」	水本 義彦
二極か一極か——アジア太平洋地域の国際システムにおける 構造的変化	西田 竜也

<書評>

アレクサンダー・ベッツ、フィル・オーチャード編著 『履行と世界政治』	中村 文子
アンドリュー・リンクレイター著 『西洋国家システムにおける暴力と文明』	池田 丈佑
中村正志著 『パワーシェアリング』	鈴木 絢女

2020年9月刊